

八雲町立山越小学校
学校だより
まごころ

至誠

重点教育目標

- 自ら学び ・自分の課題に取り組み続ける子 ・自分の考えや気持ちを表現できる子
- 心豊かに ・挨拶と返事のできる子 ・みんなと協力して取り組める子
- たくましく ・機敏に行動できる子 ・最後までやり遂げる子

第10号 令和4年12月23日発行



子供たちの生活空間を広げ有意義な冬休みに

校長 沢田 慶毅

本日で後期の前半が終了しました。コロナ禍ではありましたが、この間、保護者や地域の皆様の御協力、御支援のもと、普段の授業はもとより学校行事など無事に終了することができ、子供たちは逞しく成長することができました。心より感謝とお礼を申し上げます。

先月より中途評価から読書の取組を開始いたしました。子供たちの読書の状況はいかがでしょう。今の環境はネットワークを通して簡単に情報が入るため、おしなべて子供たちは本を読まない傾向にあると聞いたことがあります。本を好きにさせるには家庭環境も重要です。どんなに本を買って与えても、読みなさいと進めても、机や子供部屋を与えても、家の人が少しも本を読まず、雑誌の拾い読みでは、子供が本を好きにならないそうです。5分でもテレビやスマホをとめて新聞や手近な本を手にし、ゆっくり時間をかければ、子供も自然と本に心が動くのではないのでしょうか。

さて、今の子供たちの生活の中で確実に減少してきているものの中に「遊びの時間（屋外で何人かの友達と体を動かしながら遊ぶ）」「手伝いの時間」「睡眠時間」があるとされます。遊びについて考えてみますと、室内で体を動かすことなくネットゲームを通して交流することが多くなってきているように思えます。子供の遊びには重要な要素があります。遊びを創造したり、人との付き合い方を学んだり、その中で自己主張の仕方や仲直りの仕方を経験するなど、多くのことを身に付けて大人になっていきます。集団でのかかわりが減少し地域社会の人間関係も希薄となっていくと人間関係を育てていく基盤が失われるのではないかと気になるところです。明日から20日間の冬休みとなります。どの子供たちも楽しみにしているお正月があります。どうぞ子供を含めた家族そろっての遊びや親戚、近所の子供たちとの遊びを通して生活空間を広げていただければと願っています。

来年は「卯年」です。うさぎは後ろ足が発達しており、野ウサギなどは5メートルも飛ぶことができるといいます。その飛躍力にあやかって一人一人が大きく飛躍できることを願いたいところです。今年お寄せいただきました御協力に心から感謝を申し上げますとともに、皆様にとって新しい年がご多幸でありますようご祈念申し上げます。



1月行事予定

- 1日(日) 元日 学校閉庁日(～3日)
- 2日(月) 振替休日
- 9日(月) 成人の日
- 12日(木) ICT家庭学習
冬休み最終日
- 13日(金) 午前授業(給食なし)
冬休み明け集会
- 14日(土) 山越読書DAY
- 19日(木) スキー学習
- 20日(金) 児童会

- 24日(火) 移動図書
- 26日(木) スキー学習
- 27日(金) クラブ(スポーツ教室)
- 30日(月) 二計測
- 31日(火) あおぞら交流授業

学校閉庁日(12月29日～1月3日)
期間の連絡先
○12月29日(63-3131 町教委)
○上記以外(62-2111 役場総務課)

授業の様子（1・4年）

1年生の国語で、手紙を書く学習があり、伊藤さんと1年生でお互いに手紙を出し合いました。子供たちは、感謝の気持ちが伝わるように一生懸命考えながら取り組んでいました。「ありがとうございます。」だけでなく、自分の気持ちを書き加えたり、学校生活での思い出を書いたりするなど、相手に伝わるように書く姿が素晴らしかったです。1年生同士でお互い読み合ったときの2人の笑顔が素敵でした。



4年生の算数は、野田生小学校と遠隔授業で行っております。山越小の3人に野田生小の2人が加わり5人での学習になります。通常は3人で発表の交流が終わるところ、新しく2人の考えを聞けるので、子供たちからは「たくさん考えを聞けるから嬉しい。」「～さんと同じ考えだった。」「～さんの発表したことがわかった。」と感想を言っていました。何よりも他の小学校の友達と学習することを楽しみにしていて、遠隔授業がない日は、「どうしてないのですか?」「遠隔しかなかった!」などと残念がっています。冬休み明けからも遠隔授業を行う予定です。子供たちの「分かった!」「できるようになった!」が増えるように、改善しながら取り組んでいきます。

薬物乱用防止教室（5・6年）

15日（木）に薬物乱用防止教室を行いました。八雲保健所から看護師の福田さんに来ていただき、「薬と乱用」について、説明を聞いたりクイズを交えたりしながら学びました。「乱用」という言葉の意味を調べるところから始まり、普段使っている痛み止めや酔い止め、シップなどの薬も決められた量で服用しなかったり、ほかの人に処方されたものを使ったりすると、体に不調をもたらすということを知ることができました。また危険ドラッグや違法薬物など、実は身近にある危険な薬物乱用の現状を知り、「日本でも、薬物乱用の問題が深刻だというのが意外だった。」「自分の体を守るために、薬物の乱用はしない。」という決意表明をしてくれました。これから社会で過ごしていく子供たちを守るため、正しい情報をあらかじめ伝えておくということが重要に感じました。「知は力」という言葉があるように、子供たちがたくさんの事柄を知ること、安全に過ごせるようこれからも支援していきたいと思えます。



生活科・おもちゃフェスティバル（特別支援学級）

8日の参観日に、1年生を招待して生活科のおもちゃフェスティバルを行いました。各ご家庭や職員から集めた紙パックやトレイなどを利用して、みんなで楽しむことのできるおもちゃをこつこつと作ってきました。2人とも、自ら作ったおもちゃを操作して、「うまくできた」「1年生は喜んでくれるかな」と実際にあそべる日を心待ちにしていました。

当日は保護者の皆様にも多数ご参加いただき、楽しいひと時を過ごすことができました。本番前に何度もシュミレーションを行い、自信をもって活動することができました。ご家族の「もっとやりたかった」という感想が2人の励みになったのではないかと思います。本当にありがとうございました。



12月に入り、雪が多くなりました。休み時間は、外でそり滑りをしたり、雪だるまをつくったりして、雪遊びを楽しんでいます。



15日（木）、ALTのモルウェナ先生と全校児童でクリスマス会を開きました。トナカイの体の部位を英語で教えてもらいながら、トナカイのイラストを楽しく制作しました。